

一九九七年九月、岐阜県多治見市で約十六坪のオフィスを借りたことを機に、システム開発事業を拡大するため、知人三人を誘い一緒に働くことにしました。この時はまだ法人ではなく個人事業主でしたが、この集団の名前を中学生の時大好きだった、アメリカのドラマ「特攻野郎Aチーム」から「エイチーム」としました。各分野のスペシャリストが集まり、困っている人たちを助けるというドラマの趣旨に憧れたからです。「エイチームに頼めば、どんな困難な開発も必ず解決してくれる」。そんな集団にしたかったのです。

当時、オフィスコンピュータからパソコンへのシステム移行が始ま

社名の由来

お高生
はし林

った頃でもあり、僕の元へも小規模システムの開発依頼が多く来ましたが。短納期なもの、開発難易度の高いものなどさまざまな案件がありました。着実に納期までに高品質なものを納品することができました。

最初の二年ほどは多治見市のオフィスで開発できる案件ばかりでした。しかし、パソコンでのシステム開発が一般的になるにつれ、規模も大型化し、自分のオフィスでの開発ではなく、一つのオフィスに複数の企業から百人ほどの技術者が集められ、そこで開発するようなスタイルに変わっていききました。自分のオフィスで自分のペースで作ることが好きだった特攻野郎エイチームは、仕方なく、どこにでも出向いて開発をする「出向野郎エイチーム」になっていくのでした。(エイチーム社長)